



Do you like

some more

ENGLISH?



英語の名詞・複数形のはなし

言葉の学習で最初に学ぶのは、名詞(物や事の名前)です。英語で名詞を noun と言いますが、語源はラテン語の *nomen* で、“名前”という意味です。英語の学習でも apple, book, dog などの名詞を最初に覚えましたよね？

英語通信 vol1.8 で、名詞には数えられるものと数えられないものがあると言いましたが、数えられる名詞 (countable noun) で2つ以上の場合、名詞を複数形にするためには・・・

名詞の語尾に s をつける！

語尾が s, o, x, sh, ch の名詞は -es をつけるのですよね。それと、子音 + y の語尾は y を i に変えて es をつける！

さすが！二人とも優秀です。名詞の複数形、-s/-es の発音は、z/s/iz の三種類があります。日本語でも本数の数え方は、「ほん」と「ぼん」と「ぽん」がありますよね。1本(いっぽん) 2本(にほん) 3本(さんぽん)・・・母国語話者にとっては子供の頃から慣れているので、めったに間違わないのですが、外国の人にとってはこの使い分けが難しいと聞きます。

ほんとうだ！“4本<よんぽん>”とか“5本<ごぽん>”とか言わないや。

おそらく、間違えても幼少のころに修正されるからです。英語の語尾 s の発音も、母国語とする人にとっては同様です。音韻上の規則はありますが、慣れて覚えるのが一番だと思います。

ところで、すべての名詞は s をつければ複数形になるのでしょうか？

あ、そうか、man の複数形が men になるみたいに、不規則なものもありますね。

英語の場合はそれほどたくさんの不規則変化があるわけではないので、覚えておきましょう。

①母音が変化するパターン

foot - feet (足)、goose - geese (ガチョウ)、louse - lice (しらみ)、man-men(男)、woman-women(女)、mouse-mice(ハツカネズミ)、tooth-teeth(歯) など

②語尾が-en タイプ

ox-oxen (牛)、child- children(子供)、brother-brothren (修道士)

これ、不思議に思った。child の複数形が childs じゃないってことが・・・。



どうしてそうなるのかな？

いい質問です。たとえば、foot が feet に、tooth が teeth になるのに、book は beek にならないの？というような疑問があります。英語通信 vol1.4 と 5 で英語という言語の歴史に触れまし

たが、こういった不規則な語尾変化は、古英語(5世紀から11世紀)のなごりと言えます。AD850年から1000年にかけて、イングランド島にヴァイキングの侵略、移住が繰り返し行われました。実は古英語は、非常に複雑な語尾変化がある言語で、例えば、名詞の複数形に関して、4パターンの語尾変化(男性名詞強変化、中性名詞強変化、女性名詞強変化、弱変化)がありました。移住してきたヴァイキングにとって、またイングランド女性とヴァイキングの間にできた子供たちにとって、この複雑な語尾変化に対応するのは困難なことでした。ということで、彼らの都合で「語尾にsをつけて複数形を作ろう」ということになりました。bookの複数形は中世英語のころにすでにbookesとなっていますので、ヴァイキング形式をとった語となります。



て、この複雑な語尾変化に対応するのは困難なことでした。ということで、彼らの都合で「語尾にsをつけて複数形を作ろう」ということになりました。bookの複数形は中世英語のころにすでにbookesとなっていますので、ヴァイキング形式をとった語となります。

🐰 そのなかで昔の形が残ったのが、不規則な語尾なのですか？

その通りです。child-childrenを例に見てみましょう。childの語源は、古英語でcildで、10世紀後半に、複数形がchildra/childruとなったのですが、ヴァイキング時代に弱変化の複数形語尾-anが加わり、childranになります。それがさらに変化して現在のchildrenとなりました。

🐰 他にも不規則があるのかな？

はい、不規則の続きです。

③単数形と複数形が同じ形(単複同形)

主に群れで行動する動物の名詞です。

fish(魚)、carp(鯉)、sheep(羊)、deer(鹿)、duck(アヒル)、shrimp(小エビ) など



④その他

person-people(人)、die-dice(さいころ)、penny-pence(イギリスの通貨)

⑤外来語、ラテン語・ギリシャ語由来の名詞

⑥複数形しかない名詞

glasses(眼鏡)、trousers(ズボン)、pants(ズボン)、scissors(はさみ)、tongs(トンク)



さて、なぜ複数形だけなのか？気が付きましたか？

🐰 もどれも二つで一つ？例えば、はさみは刃が二つ、眼鏡もレンズが二つです。



そうです。これらの名詞は、単数形がないので、a glassesとはできません。

眼鏡一本の場合は a pair of (一対の)glasses とします。

上記の例とは違い単数形もあるけれど、通常一対で使う socks(靴下)、shoes(靴)なども a pair of を使います。

🐰 ジャあ、靴下をひとつなくしたときはソックスではなく sock っていうのか!?

シンデレラが王子様のお城に残したのはガラスの shoe(slipper) です。

🐰 王子様が彼女を探し出して、ガラスの靴もめでたくペアになり、a pair of shoes になったのですね!

めでたし、めでたし!



to be continued...